I’m happy that ～. / I’m sure that ～.

ポイント 「～してうれしい」は〈be happy that ～〉で表す

I am happy that I met you.　　わたしはあなたに会えてうれしいです。

形容詞　that 主語＋動詞～

形容詞 happy の後ろに“that ～”のかたまりがくる
※happy（形容詞）は動詞ではないので be 動詞が必要！
※感情の形容詞の後ろの“that ～”は「感情の原因」を表す

ポイント 「～を確信している」は〈be sure that ～〉で表す

I am sure that you can do it.　　わたしは，あなたならできる（ということ）を確信しています。
➡わたしは，あなたならできると確信しています。

形容詞　that 主語＋動詞～

形容詞 sure の後ろに“that ～”のかたまりがくる
※sure（形容詞）は動詞ではないので be 動詞が必要！
※that のかたまりの中は「確信している内容」がくる

ポイント 〈be 形容詞＋that ～〉の表現

表現	意味
be glad that ～	～をうれしく思う
be sorry that ～	～を残念に思う
be surprised that ～	～して〔～なので〕驚く
be sure that ～	～を確信している
be afraid that ～	～ではないかと心配する 残念ながら～だ

that は省略することができます

例題 1

次の日本文に合う英文になるように空所に適切な語を入れなさい。

わたしはわたしの母がわたしのためにケーキを焼いてくれてうれしいです。
I ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ my mother baked a cake for me.

解答 am, happy〔glad〕, that

解説 わたしは わたしの母がわたしのためにケーキを焼いてくれ てうれしいです。
I ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ my mother baked a cake for me.

① 「わたしは」I,「わたしの母がわたしのためにケーキを焼いてくれた」my mother beked a cake for me はすでに英文にあるので，空所に入るのは「～(してくれ)てうれしいです」の部分。
② 「～してうれしい」は〈be happy〔glad〕 that ～〉で表す。主語が I なので be 動詞は am。
③ したがって，I am happy〔glad〕 that my mother baked a cake for me. となる。

確認テスト 1

次の日本文に合う英文になるように空所に適切な語を入れなさい。

(1) おじがわたしたちを訪問してくれて，わたしはうれしいです。
I ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ that my uncle visited us.

(2) わたしはキャシーが来るだろうと確信しています。
I’m ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ Cathy will come.

(3) わたしたちが試合に負けて，わたしは残念です。
I’m ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ we lost the game.

(4) わたしたちが京都を訪れる予定なので，わたしはうれしいです。
I’m ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ we are going to visit Kyoto.

例題 2

次の日本文に合う英文になるように語句を並べかえなさい。ただし，不要な語句が含まれている場合があります。また，文頭にくる文字も小文字で示してあります。

わたしは，あなたを手伝うことができてうれしいです。
(help / happy / you / I’m / I / that / can / .)

解答　I’m happy that I can help you.

解説　わたしは，(①) あなたを手伝うことができ (③) てうれしいです。(②)

① 主語は「わたしは」なので I。
② 「〜してうれしい」は〈be happy that 〜〉で表す。主語が I で，現在の文なので be 動詞は am。I am は I’m と短縮形にすることができる。
③ that の後にうれしい原因を続ける。「(わたしが) あなたを手伝うことができて」なので「〜できる」〈can＋動詞の原形〉を使って，I can help you となる。
④ したがって，I’m happy that I can help you. となる。

確認テスト 2

次の日本文に合う英文になるように語句を並べかえなさい。ただし，不要な語句が含まれている場合があります。また，文頭にくる文字も小文字で示してあります。

(1) ジョンならそれができると，わたしは確信しています。
(John / it / I’m / do / can / sure / .)

____

(2) 遅れてすみません。(1 語不要)
(late / sure / sorry / I’m / I’m / .)

____

(3) わたしはあなたが明日来られなくて残念です。
(you / come / I’m / tomorrow / that / cannot / sorry / .)

____

例題 3

that を使って，次の日本文に合う英文を完成させなさい。

わたしはみんなが疲れていると確信していました。

解答例　I was sure that everyone was tired.

解説　わたしは（①）　みんなが疲れている（③）　と確信していました。（②）

① 主語は「わたしは」なので I。
② 「～と確信している」は〈be sure that ～〉で表す。主語が I で過去の文なので be 動詞は was。
③ that の後に確信していることを続ける。「みんなが疲れている」は everyone was tired。「みんなが疲れている」のは，「わたしが確信していた」（過去）と同じ時のことなので，be 動詞は過去形の was を使う。
④ したがって，I was sure that everyone was tired. となる。

確認テスト 3

that を使って，次の日本文に合う英文を完成させなさい。

(1) エミリー（Emily）はいい人だと，わたしは確信しています。　*a good person：いい人

____

(2) あなたのおばあさんが病気で，わたしは残念です。

____

(3) わたしの兄が良い仕事を見つけたので，わたしはうれしいです。

____